

市議会だより

令和6年(2024年)第4回定例会
発行 船橋市議会
編集 広報委員会
発行日 令和7年(2025年)1月31日
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
電話 047-436-3014



特別支援学級の新規開設等に伴う改修や、物価高騰対策として 住民税非課税世帯に対し給付金を支給するための補正予算案を審議・可決

『休日のレジャー』／撮影者：中村 隆次 様／撮影日：令和3年12月5日／撮影場所：高瀬町

年頭のあいさつ

第64代議長 わたなべ けんじ
渡辺 賢次



市民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

ここ数年、原油価格や物価の高騰、人手不足など、私たちを取り巻く経済環境は依然として厳しい状況が続いております。

また、災害の激甚化、環境問題、少子高齢化など社会全体で取り組むべき課題も山積しております。このような中、私たち市議会は市民の皆様の代表として行政が適正に行われているかを検証するとともに、条例を設けることや予算を定めることなど議事機関としての様々な役割を果たしております。

さらに、議会をより身近に感じていただくため、「議会見学会・意見交換会」の開催、高校への「出前講座」の実施をしたほか、市議会だよりの全戸配布、本会議・委員会のインターネット配信など、情報発信に努めております。

今後もこれらの活動をさらに充実させるとともに、厳しい経済状況に対応した政策立案や、市民の皆様の声を反映した議会運営に取り組んでまいります。皆様のお声を是非、議会また議員にお寄せください。

皆様にとりまして、今年一年が素晴らしい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

令和6年第4回定例会は、令和6年11月15日から12月19日までの35日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から18議案、議員から1議案が提出され、児童扶養手当の制度改革に関する補正予算案や、東部公民館に関する条例改正案などを含む18議案が可決されました。

今定例会の主な流れ

11/15	開会 議案・発議案提案説明	P.2、3
11/22～12/2	議案質疑 一般質問	4、5 14～19
12/4～12/16	各委員会の審査	6、7
12/19	採決（議案等の議決） 閉会	8
その他	会派の抱負 閉会中の委員会報告 会派の構成 出前講座を実施しました、お知らせ	10～13 9 7 20

議案の概要

今定例会に提出された議案のうち、主な議案をご紹介します。
 全ての議案名と議決結果は8ページに掲載しています。
 各議案の概要は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

市長提出



議員提出



住民税非課税世帯等価格高騰支援給付金

【第18号】令和6年度一般会計補正予算

補正額	23億8701万6千円
(内訳)	
民生費	23億8701万6千円

【事業内容】

物価高騰対策として、令和6年12月13日時点で船橋市に住民登録があり、令和6年度の住民税が非課税となる世帯に対し、1世帯当たり3万円の給付金を支給します。

また、住民税非課税世帯に対する給付への加算(こども加算)として、支給対象者(世帯主)の世帯員である18歳以下の児童1人あたり2万円を支給します。

高校生キャリア支援事業の対象者要件の拡大など

【第1号】令和6年度一般会計補正予算

補正額	7億2926万7千円
(内訳)	
総務費	2億1476万8千円
民生費	4億5337万8千円
土木費	825万円
教育費	5287万1千円

【主な事業内容】

児童扶養手当の制度改正(補正額:5612万円)

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、令和6年11月分(令和7年1月支給)の児童扶養手当から、所得制限限度額の引上げや多子加算の拡充を行うものです。

高校生キャリア支援事業の対象者要件の拡大

生活困窮世帯の高校生等を対象に、学習・進学・就労意欲の向上につながるためのセミナー等を開催します。また日常の学習サポートや相談のできる集合型の学習支援教室を実施するとともに、オンライン学習アプリによる学習環境を提供するほか、対象者の要件を拡大し制度の充実を図ります。

令和7年度の事業実施にあたり、事業者選定及び契約の時期を早め、切れ目のない支援のため早期実施を目指します。

●対象者(左に該当する世帯の高校生等)

- ・児童扶養手当を受給している、または同水準の所得のひとり親家庭
- ・生活保護受給世帯(令和7年度より拡大)
- ・就学援助認定相当の収入の世帯(令和7年度より拡大)

特別支援学級の新規開設及び学級数を増加(補正額:978万9千円)

令和7年4月に特別支援学級の新規開設や特別支援学級設置校の学級数を増やすため、教室の改修等を行います。

●知的障害特別支援学級(新規開設)

二和小、葛飾中、芝山中

●自閉症・情緒障害特別支援学級(新規開設)

塚田小、豊富小、小室小、行田中

●学級数の増加により修繕等が必要な学校(自閉症・情緒障害特別支援学級)

市場小、薬田台南小、湊中、二宮中、習志野台中

海神南小学校への昇降機設置に向けて設計業務委託を実施

(補正額：2552万円)

教育環境の改善を図るため、海神南小学校への昇降機設置に向けて、設計業務委託を行います。

法典地域包括支援センターのサブセンター開設に向けた修繕を実施

(補正額：454万3千円)

第9期介護保険事業計画で整備を計画している法典地域包括支援センターのサブセンター等を、令和7年4月に旧西老人デイサービスセンター跡に開設するため、必要な内装や照明の修繕等を行います。

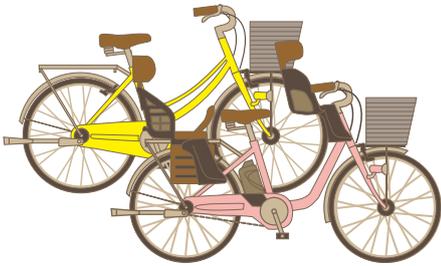
船橋日大前駅東口の駐輪場を整備(補正額：825万円)

船橋日大前駅東口第一自転車等駐車場が令和7年4月末をもって閉鎖予定であることから、代替の自転車等駐車場を整備します。

名称(仮称) 船橋日大前駅東口第三自転車等駐車場

収容台数 自転車 月ぎめ228台
原動機付自転車 月ぎめ27台

供用開始 令和7年5月供用開始予定



東部公民館の使用料の変更

【第4号】公民館条例の一部を改正する条例

【改正内容】

〈改正後〉	
会場	料金/1コマ3時間
講堂	4,990円
実習室	990円
音楽室	990円
和室	590円
第1集会室	590円
第2集会室	590円
第3集会室	590円
第4集会室	590円
第5集会室	990円
第6集会室	990円

東部公民館の改修工事による集会室の増設や音楽室の新設等にあたり、施設使用料を規定するため所要の改正を行うものです。

**都市計画道路3・4・27号線橋りょう上部工
工事に係る請負契約を締結**

【第5号】都市計画道路3・4・27号線橋りょう上部工工事請負契約の締結について

都市計画道路3・4・27号前原東飯山満町線における、市道00-136号線を横断する橋りょうの上部工工事を行います。
都市計画道路の整備において、交通渋滞の緩和や道路利用者の安全性向上、日常生活の利便性向上、災害時の避難路の確保を目的とし、本工事では、橋りょう上部工の工場製作及び架設等を行います。

【契約金額】 7億3589万1090円

【工期】 契約締結日の翌日から680日間

議案質疑

今定例会に提出された議案について、質疑したものです。
議案質疑は11月22日、12月13日及び12月19日に行われました。

日本共産党



神子
まゆみ



岩井
友子

第1号

質問 市民の暮らしが一層厳しさを増す中で、なぜ市独自で給付金等の市民生活に対する支援策を打ち出さないのか。

答 企画財政部長 低所得者対策等の支援金をすべて市の財源で賄うことは難しい。国の支援等を受けながら、国からの交付金があった場合は速やかに補正予算を組める体制を取っていききたい。

質問 高校生キャリア支援事業は集合型教室では決められた2つの会場で行い、オンライン授業では指定された学習アプリを使用するなど選択肢が限られている。支援が届かない生徒がいないように、現金給付も必要ではないか。

答 こども家庭部長 本事業では金銭的な給付にとどまらず、将来のプラン形成のための学習支援等を行っている。令和7年度は事業の拡大も予定していることから、過去に行っていた援助金の再開は考えていない。

第16号・第17号

質問 特別職の給与を改定し引き上げるよりも、市民への支援が先ではないか。

答 総務部長 人事院勧告に準拠し改定

飛翔



佐藤
つぐみ

第1号

質問 海神南小学校のエレベーター設置時期はいつごろになる見込みか。

答 管理部長 現時点で令和8年の秋ごろから供用開始することを想定している。

質問 エレベーターの有無により通学先を学区の学校から変更している児童生徒もいると聞く。設置されている小中学校数と、地域ブロック別の設置割合は。また設置の明確な方針はあるのか伺う。

答 管理部長 学校数は12校で、ブロック別では、南部21・4%、西部35・7%、中部0%、東部4.8%、北部17・6%である。設置方針は、学校の新築や建て替え、大規模な増築に合わせて計画的に進めるとともに、支援が必要な児童生徒の入学予定の情報を収集し、検討をしている。

質問 児童生徒や保護者の負担軽減のため、また、エレベーターが設置されている学校の地域差を埋めるように、計画的に対応策を講じるべきでは。

答 管理部長 学校施設におけるバリアフリー化の一層の推進のため、学校の新築や建て替え、大規模な増築などに合わせて計画的にエレベーターを設置するとともに、支援が必要な児童生徒の入学予定の情報等を収集し、既存校舎への設置も検討していく。

市政会



日色
健人



米原
まさと

第1号

質問 海神南小学校へのエレベーター設置の判断を高く評価し、以下を問う。

①設置完了までの期間短縮、前倒しを検討できないか。②設置後の運用、維持管理について、当該校は体育館が3階にあり、避難所として地域住民の利用も考えられる。そのような避難時の地域住民のエレベーター利用も差し支えないか。

答 管理部長 ①令和8年秋ごろから供用開始を想定しているが、できるだけ早期の設置を目指していく。②地震時の影響や電源供給に支障がない状況であれば地域住民も活用可能と考える。

第3号

質問 道路占用料を市の裁量において任意に設定することは可能か。

答 道路部長 道路価格は本市の固定資産税評価額を、使用料率等は国土交通省の算定式を用い、適正な額としている。

第5号

質問 今回の入札応札者は7者だが、前定例会の議案「新船橋橋架け替えに伴う橋りょう上部工事請負契約」では1者であった。なぜ応札者が増えたのか。

答 企画財政部長 入札参加資格要件設定に係る基本的な考えに変更はない。各業者が工事内容を勘案した結果と考える。

無所属



はまの
太郎

第1号

質問 今回新設する(仮称)船橋日大前駅東口第三自転車等駐車場は駅から遠く不便。西口ロータリーの広いスペースに、歩行の妨げにならない範囲で設置する方が市民の利便性は高いのではないか。

答 都市整備部長 ご提案の西口ロータリーの土地は市以外にも地権者がいるため、協力を求めながら、景観等を考慮した上で設置の可能性を検討していく。



市民民主連合



朝倉 幹晴

第1号

質問 今の中高生達が生き働く未来、2030年代は、終身安定雇用の「メンバースhip制」でなく「ジョブ制」の労働環境となる。医療ほか専門職等は維持される一方、多くの中高生達は多分野をつなぎあわせる中で生き働く時代となる。変化への不安や期待が、最近の諸選挙で、10代・20代が60代以上と異なる投票傾向である背景にあると見る分析もある。その思いを、船橋市政の重責を担う者として受け止めたい。中高生が今後どの分野に進んでも、大きな力となるのがIT技術である。プロダクトマネージャー・エンジニア・デザイナーのIT3技術職の育成を本予算の「高校生キャリア支援事業」の中に位置づけるべきと思うがどうか。

答 子ども家庭部長 ニーズを把握し、必要に応じて委託業者と協議していく。

質問 「令和6年版厚生労働白書」は冒頭の第1部(約170頁)で「こころの健康」について記述し、全世代に言及した。本予算の法典地区を含め市内の各地域の地域包括支援センターでも、高齢者の体の健康のみならず、全世代の心の健康保持の視点を持つべきでは。

答 高齢者福祉部長 窓口で世代や属性を問わず相談を受け止める。

公明党



橋本 和子

第4号

質問 3階の第2・第3和室が絨毯敷になるが、台風時などの避難所開設時に避難する方はこの部屋を利用するのか。

答 生涯学習部長 改修後も靴を脱いで利用する部屋であることから、和室と同様に、これらの部屋にも誘導する予定。

質問 新たに音楽室が設置されたが、防音対策について伺う。

答 生涯学習部長 窓は防音性能を有する二重サッシを採用。天井・床・壁面・扉も防音性能の高い材料を使用する。

第5号

質問 橋りょうが完成し、都市計画道路が開通することで期待できることは。

答 道路部長 現在、前原駅と飯山満駅間を往来する車両が、比較的幅員が狭い生活道路を通過している。開通により、生活道路の安全性向上が期待される。

質問 3・4・20号線と3・4・27号線が接続する丁字路に信号機の設置は。

答 道路部長 警察に設置の要望をしており、引き続き具体的な調整を図る。

質問 自転車走行環境を整備するのは。歩道の幅員・転落防止等の安全対策は。

答 道路部長 整備する。歩道の幅員は3.5m。安全対策は高さ1.1mの壁高欄の上にも0.9mのメッシュフェンスを設置する。

結



林 としのり

第1号

質問 中学生の学習支援事業が4年間の債務負担行為であるのに対して、高校生キャリア支援事業は2年間の債務負担行為である。年数が共通でない理由は。

答 子ども家庭部長 安定した事業運営や生徒の継続参加のしやすさからも複数年度での実施が望ましいと考えている。しかしながら、高校生キャリア支援事業は来年度が対象を拡大する初年度であり、新たな対象者や会場での利用状況を見極める必要があるため、2年間とした。

質問 高校生キャリア支援事業は、学習支援教室の会場数を2か所から3か所とするが、新たな会場の選定理由を伺う。

答 子ども家庭部長 新たな会場は二和公民館を想定している。既存会場とのエリアのバランスを考慮し、また駅に近く利用者の利便性が高まる会場を選定した。

第13号

質問 特別養護老人ホーム三山園が民間移譲された後、本市は行政として今後どのような趣で関与していくのか。

答 高齢者福祉部長 本市として指導監督を実施する中で、適正な運営が行われているかについて確認させて頂き、入所者の方へ適切なサービス提供が行われるよう、必要な対応を行っていききたい。

清風会



滝口 宏

第1号

質問 小中学校の校舎にエレベーターを設置する際、どのような方針のもと設置されてきたのか。

答 管理部長 要支援児童生徒の入学予定の情報等を収集し既存施設に設置したケースや、新築・建て替え・大規模な増築の際に設置してきた。

質問 既存校舎への設置は7年間行われていない。新築・建て替え・大規模な増築が無い場合の設置計画は。

答 教育次長 バリアフリー法改正の趣旨を鑑み、校舎等の建て替えを早期に実施していくこと、予算措置から設置までの手法を研究すること、築年数や校舎、人の動線を考慮して新たに整備すること等の考え方がある。他市や民間の設置状況等を参考に検討していく。

第5号

質問 令和5年7月に静岡市内の国道1号で実施された橋梁工事で、施工中の橋桁が道路に落下し、死傷者が発生する事故があった。本市の安全管理体制は。

答 道路部長 一般競争入札総合評価型の実施にあたり、施工計画のテーマを公衆災害防止の取組と定めることで、事業者からの災害防止の提案を促し、施工時の安全性向上を図っている。

各委員会の報告

委員会付託された議案等を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。本ページでは、その一部を紹介いたします。

予算決算委員会



議案第1号

令和6年度船橋市一般会計補正予算

議案の概要は2ページに掲載。

賛成

◆高校生キャリア支援事業の対象世帯が令和7年度から拡大されることは非常に意義があるが、今年度新たに対象となった世帯に情報が届くのが心配であるため、個別に案内を出すなど丁寧な対応を求める。また、特別支援学級に入れないとの声が届いている中、設置されていない学校もあるので、今後も新規開設を望む。

反対

◆国の財源に頼らない物価高騰対策が今回も提案されていない。財政面・安全面ともに破綻している医療センターの移転事業を抜本的に見直し、市民の暮らし第一の市政に転換すべきである。また、本案に反対する大きな理由は、老人福祉センターの指定管理料である。公共施設の管理を担う働き手の雇用や労働条件を不安定にさせ、民間事業者が収益をあげる指定管理者制度自体が容認できない。

◆特別支援学級の開設準備等、全体的に必要な内容である。しかし、老人福祉センター指定管理費用に関して、現行の指

採決結果 賛成多数で可決

定管理者制度の運用は長期的な展望を持った運営が難しく、事業者や雇われている人、利用者にとって適切ではない。

議案第18号

令和6年度船橋市一般会計補正予算

議案の概要は2ページに掲載。

賛成

◆国からの通知以降、期間が短い中で本定例会の最終日に間に合わせた迅速な対応に感謝する。本給付金事業に関する詐欺への対策と、給付事務における個人情報漏えいなどの事故を起こさないことを要望する。

◆今回、低所得者の枠しか提案がなかった。本来であれば、国の推奨事業メニューも含めた幅広い給付が可能であったにもかかわらず、それができなかったことについては改善を求める。推奨メニューについては、速やかに予算化する準備をしているということなので、できるだけ早く本当に家計で困っている皆さんに支援が行き届くよう強く要望する。

採決結果 全会一致で可決

総務委員会



議案第16号

特別職の職員の給与等に関する条例及び非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆一般職の職員の給与改定にならない、市長等特別職の職員及び議長等の期末手当の支給割合の改定を行うものです。

反対

◆一般職の職員給与の改定は、公務員の労働基本権の代償機関である人事院の勧告に基づくもので、増額は当然だが、特別職は、自ら改定することができるため、一般職に合わせた改定には同意できない。何より、財源として国からの交付税がどのくらい措置されるかわからない中で、結果として、特別職の増額に財源調整基金が充てられることにもなりかねない。物価高騰で生活が厳しい市民には財源調整基金を使わずに、市長や議員が真っ先に使って手当を引き上げることが、市民の理解を得られない。まずは、市民生活を優先して支出すべきである。

採決結果 賛成多数で可決

健康福祉委員会



議案第2号

船橋市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例

◆船橋市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正するものです。

賛成

◆救護施設等において個別支援計画を作成するだけでなく、入所者の自立に向けて、主に施設の職員の方が日常的な支援や指導を行っており、市としてもケースワーカーが、作成された個別支援計画に沿ってできているか、一緒になり支援・指導をしていくことが分かった。また、市内には本条例に該当する施設はなく建てる計画もないが、条例に非常災害対策や帳簿の保存期間について、市独自の基準も取り入れているため、賛成。

反対

◆条例の改正内容及び市独自の基準がそのまま残ることについて異議はないが、省令引き写し形式から省令準拠形式に変更することには同意できない。この変更により、本市の条例がどのようになっているのか一目で分からない状況となり、また、知らないうちに条例が変更されていたことにもなりかねないため、反対。

採決結果 賛成多数で可決

市民環境経済委員会



発議案第1号
 中小企業への直接支援を強化し、全国一律で最低賃金時給1,500円を実現するよう求める意見書

賛成

◆全国各地で実施されている最低生計費試算調査では、最低賃金を1500円以上に引き上げるべきとの結果が出ており、「今すぐ最低賃金時給1500円の実現」は誰もが否定しようのない状況である。また、地方は生活費が安く済むため最低賃金は全国一律である必要がないとする論があるが、地方では都会の視点だけでは見えない支出があり、「全国一律での実現」も必須である。この2つの実現を阻むものに、中小企業を苦しめるのか等の言説がある。これまでの政府の政策では、赤字企業の多い中小企業には支援が届いていないため、その言説ももっともだが、本意見書案には赤字企業にも届く具体的な対策が示されている。賃上げにも新たな設備投資にも使われずにいる大企業の内部留保を、中小企業の賃上げの財源として還元させることは、日本経済全体にとって大変に意味がある。

採決結果 賛成少数で否決

建設委員会



議案第5号
 都市計画道路3・4・27号線橋りょう上部工事請負契約の締結について

議案の概要は3ページに掲載。

賛成

◆都市計画道路は、地域の実情を考えると、住民にとって必要な道路とは少し違う造り方をしていること、また、他市と他市をつなぐ広域性の高い道路であることから、本来、市ではなく県が行うものだと考えているので、基本的にはあまり賛成をしていない。ただ、この3・4・27号線については、飯山満駅から前原方面に向かうと、すごい崖や坂があるため、地域の方から、ここに橋が架かることはありがたいという意見をいただいている。住民の要望に基づく工事だと思っているので基本的には賛成したい。しかし、入札金額のことが気になり、現場で働く方がきちんと賃金をもらえるのか心配である。労務単価の調査を行う際は、書類上の調査のみではなく、現地調査なども行い、きちんとお金を支払われているのかを確認していただくことを要望し、賛成。

採決結果 全会一致で可決

文教委員会



議案第4号
 船橋市公民館条例の一部を改正する条例

議案の概要は3ページに掲載。

反対

◆船橋市は多数の公民館を擁しており、大規模改修を進めていることについては高く評価している。しかし、公民館は、教育の機会均等を保障し、地域の「コミュニティ」をつくり、市民の心身の健康を進めるなど、かけがえない役割を果たす施設である。船橋市は公民館にも受益者負担の考え方を持ち込み、有料化、使用料の引上げをこの間繰り返してきた。この結果、現在物価高騰で最も苦しい立場にある低所得者の方を排除する施設となっている。市民力の推進を打ち出している本市であれば、その市民がいつでも誰でもどこでも使える公民館にするため、2020年度に行った値上げは撤回し、無料化へと向かわせるべきである。よって、現状の料金体系を追認する本議案には賛成できない。また、定員の少ない部屋の料金は大幅に引き下げるべきである。

採決結果 賛成多数で可決

会派の構成

(令和6年12月19日現在)

市民民主連合

中谷あやの 三橋さぶろう
 高橋けんたろう 岡田とおる
 池沢みちよ 朝倉幹晴
 つまがり俊明 川井洋基
 浦田 秀夫 神田 廣栄
 斉藤 誠

公明党

葛生 正文 草場 智泉
 上田 美穂 鈴木 心一
 木村 和修 松橋 浩嗣
 鈴木 和子 松寄 裕次
 鈴木 いくお

結

青木はるか 市川たけし
 林としのり 藤代清七郎
 小平 奈緒 いとう 紀子
 浅野 賢也

清風会

島田たいぞう 杉川 宏浩
 七戸 俊治 滝口
 鈴木 和美

日本共産党

かなみつ理恵 神子そよ子
 松崎 さち 金沢 和子
 岩井 友子

飛翔

今仲きいこ 佐藤つぐみ
 齊藤 和夫 大沢ひろゆき

市政会

渡辺 賢次 米原まさと
 日色 健人 滝口 一馬

無所属

はまの太郎 ※1 三宅けいこ ※2
 かい さち ※3 佐々木克敏 ※4

議案の議決結果											○-賛成 ×-反対			
付託委員会	議案番号	件名	会派					無所属				議決結果		
			市民民主連合	公明党	結	清風会	日本共産党	飛翔	市政会	※1	※2		※3	※4
予算決算	議案第1号	令和6年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第15号	令和6年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第18号	令和6年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
総務	議案第11号	千葉県競馬組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第12号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第16号	特別職の職員の給与等に関する条例及び非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第17号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康福祉	議案第2号	船橋市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	船橋市東老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第7号	船橋市中央老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第8号	船橋市北老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第9号	船橋市西老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第10号	船橋市南老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第13号	四市複合事務組合の共同処理する事務の変更及び四市複合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
市民環境経済	発議案第1号	中小企業への直接支援を強化し、全国一律で最低賃金時給1,500円を実現するよう求める意見書	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	否決	
建設	議案第3号	船橋市道路占用料条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	都市計画道路3・4・27号線橋りょう上部工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	市道の路線認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教	議案第4号	船橋市公民館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

所属会派の○×と異なる議員

- ・議案第13号……市民民主連合の齊藤誠議員は退席、市民民主連合の中谷あやの議員、岡田とおる議員、つまがり俊明議員、川井洋基議員は○
- ・議案第16号……市民民主連合の中谷あやの議員、高橋けんたろう議員、岡田とおる議員、つまがり俊明議員、結の青木はるか議員、市川たけし議員は退席
市民民主連合の池沢みちよ議員、朝倉幹晴議員、浦田秀夫議員は×
- ・発議案第1号……市民民主連合の浦田秀夫議員は○
- ・議案第1号～第18号、発議案第1号……市民民主連合の神田廣栄議員は欠席

陳情の議決結果											○-賛成 ×-反対			
付託委員会	受理番号	件名	会派					無所属				議決結果		
			市民民主連合	公明党	結	清風会	日本共産党	飛翔	市政会	※1	※2		※3	※4
健康福祉	陳情第40号	新医療センター用地が超軟弱地盤であると判明したため、建て替え適地の再検討を市に要請することに関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択
建設	陳情第41号	念田川を改修するよう求める陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択
付託省略	陳情第42号	政務活動費の情報公開推進に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

所属会派の○×と異なる議員

- ・陳情第40号、第41号……市民民主連合の中谷あやの議員、池沢みちよ議員、朝倉幹晴議員、飛翔の今仲いきこ議員は○
- ・陳情第40号～第42号……市民民主連合の神田廣栄議員は欠席

※1～※4の議員名については、7ページの「会派の構成」をご参照ください。

閉会中の委員会報告

前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会

第4回定例会に関して、会期や審議日程、提出される議案等の審議方法、故桜井信明議員に対する追悼の件等について協議・決定しました。また、船橋市議会会議規則等の一部改正について、協議しました。

11月12日 会議

- ・第4回定例会の審議日程等について
- ・船橋市議会会議規則等の一部改正について

総務委員会

対馬丸記念館、ひめゆり平和祈念資料館、沖縄県平和祈念資料館では、平和行政の取組として市民（主に中学・高校生）を派遣した場合の効果等について調査するため、語り部や学芸員から講話を聴き、質疑や意見交換を行いました。また、糸満市では、平和事業及び気象防災アドバイザーの活用について、説明を受け、質疑を行いました。

10月28日～30日 視察

- ・対馬丸記念館（平和学習について）
- ・ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館（平和学習について）
- ・沖縄県平和祈念資料館（平和学習について）
- ・糸満市（平和事業について/気象防災アドバイザーの活用について）



対馬丸記念館での視察の様子

健康福祉委員会

北海道中央児童相談所及び札幌乳児院では、それぞれ、その運営や運営上の課題等について説明を受け、質疑を行い、施設内の見学をしました。ココルクえべつでは、江別市の生涯活躍のまち整備事業や施設の概要等について説明を受け、質疑を行いました。

10月16日、17日 視察

- ・北海道中央児童相談所（児童相談所の運営について）
- ・札幌乳児院（乳児院の運営について/社会的養護自立支援事業 支援コーディネーター業務について）
- ・ココルクえべつ（ココルクえべつについて）



ココルクえべつでの視察の様子

市民環境経済委員会

所管事項に係る先進事例調査のため、宮崎県宮崎市ではみやざき創業サポート室、大分県では消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」、福岡県福岡市では男女共同参画推進センター・アミカス、保健環境学習室まもる一む福岡を訪問し、取組の説明を受け、質疑を行い、各施設を見学しました。

10月30日～11月1日 視察

- ・宮崎市（マチナカ3000プロジェクトについて）
- ・大分県（女性活躍応援県おいたの各種取組について）
- ・福岡市（女性・男性特有の健康課題等と仕事の両立推進に関する取組について/海洋ごみ・海洋プラスチックごみ問題及びプラスチック製品回収に関する取組について）



福岡市での視察の様子

建設委員会

愛知県春日井市では新しいモビリティサービスの導入について、愛知県岡崎市では道路点検業務におけるAIの活用についてそれぞれ説明を受け、質疑を行いました。岐阜県岐阜市では公共交通における自動運転技術の活用について説明を受け、質疑を行い、自動運転バス「GIFU HEART BUS」に試乗しました。

10月16日、17日 視察

- ・春日井市（新しいモビリティサービスの導入について）
- ・岐阜市（公共交通における自動運転技術の活用について）
- ・岡崎市（道路点検業務におけるAIの活用について）



岐阜市での視察の様子

文教委員会

鹿児島県鹿児島市では天文館図書館を見学し、その後、図書館の運営について説明を受け、質疑を行いました。熊本県ではGIGAスクールやICT教育について、熊本県熊本市ではフレンドリーオンラインについて、それぞれ説明を受け、質疑を行いました。

10月28日、29日 視察

- ・鹿児島市（図書館の運営について）
- ・熊本県（GIGAスクール、ICT教育について）
- ・熊本市（フレンドリーオンラインについて）



鹿児島市での視察の様子

広報委員会

市議会だより261号の掲載内容について、協議・決定しました。また、市議会だよりの編集作業、出前講座の対象の拡大及び議会見学会の拡充について、協議しました。

10月9日 会議

- ・令和6年第3回定例会市議会だより261号について
- ・市議会だよりの編集作業について
- ・広報委員会の協議事項について
- ・その他（議会情報提供システムの更新について（報告）/庁舎モニターを活用した広報について（報告）/次回の広報委員会について）

10月11日 出前講座

- ・船橋市議会出前講座（船橋市立船橋高等学校）
- ※実施内容は20ページをご覧ください。

会派の抱負



市民民主連合

高橋 けんたろう 岡田 とおる 朝倉 幹晴 つまがり 俊明 三橋 さぶろう
池沢 みちよ 浦田 秀夫 神田 廣栄 斉藤 誠 川井 洋基 中谷 あやの

新年おめでとうございます。

私たち市民民主連合は、市民一人ひとりが安心して暮らせる公平な社会を目指して活動しています。物価高騰など厳しい状況が続いていますが、議員一丸となり、「自由と共生」を柱に、未来への責任を果たすべく努力を重ねてまいります。今年もより良い船橋を実現するため、全力を尽くします。



三宅 けいこ

無所属

誰もが「生きていて良かった」と思える社会を実現するため、今年もれいわと共に頑張ります。



はまの 太郎

無所属

子ども達に、お年寄りに、障がいのある人にも
ない人にも、やさしい街づくりを目指します。

会派の抱負

公明党



木村 修 草場 智泉 葛生 正文 鈴木 心一
橋本 和子 松橋 浩嗣 松寄 裕次 鈴木 いくお 上田 美穂

明けましておめでとうございます

市民の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
公明党の原点は地方議会です。内外ともに課題を抱える中、改めて市民の皆様との対話をもとに政策立案をまいります。
本年も宜しくお願い申し上げます。



無所属

佐々木 克敏

船橋の未来のために各種事業の向上・是正等、為すべき事を誠心誠意取り組んでまいります。



無所属

かい さち

船橋市民の声を反映し、皆様が安心して働き、安心して生活できる街づくりを目指したいと思います。

会派の抱負



結

いとう 紀子 市川 たけし 青木 はるか 小平 奈緒
林 としのり 浅野 賢也 藤代 清七郎

新春のお慶びを申し上げます。

私たち会派「結」は、多種多様な経験と見識を有する7名が、市民の皆様と市議会を結ぶべく心ひとつに活動している会派です。

物価高騰を始めとする社会不安が大きな影響を与える中、議員の役割は益々重要となっていきます。本市の抱える問題点に対して一つ一つ向き合っていき、市民の皆様の不安を少しでも取り除けるよう地域に根差した活動を通じて行政対し的確に提案をし、いただいた声を活かしたまちづくりを目指してまいります。

新春のお喜びを 申し上げます

市民の皆様の声を大切にし、安心・安全な街づくりに全力を尽くします。誰もが笑顔で暮らせる船橋を目指し、地域活性化や環境問題にも取り組みます。

本年が市民の皆様にとって幸多い年となりますようにお祈りいたします。

清風会



七戸 俊治 滝口 宏 鈴木 和美
島田 たいぞう 杉川 浩

会派の抱負

**明けて
おめでとうございます。**

**メディカルタウン構想を見直し
市民を大事にする船橋市政へ、刷新！**

メディカルタウン構想で、水害と液状化が想定される軟弱地盤の土地に医療センターを移転するのは危険です。

強引な移転で移転事業費も1000億円を超えることとなります。市のお金は病院だけでなく、市民の暮らし・福祉・教育にこそ使うべきです。

日本共産党



金沢 和子 神子 そよ子
松崎 さち 岩井 友子 かなみつ 理恵

**謹んで新春のご挨拶を
申し上げます**

国内外ともに混迷の時代ではありますが、皆さまのより良い暮らしを実現できますよう諸課題と向き合っています。

本年が皆さまにとって実り多い年となりますようお祈り申し上げます。

飛 翔



大沢 ひろゆき 佐藤 つぐみ
今仲 きいこ 齊藤 和夫

**明けておめでとう
ございます**

市政発展のため、今年も力を合わせて働きます。新しい年が市民の皆様にとり幸多いものとなるようお祈りいたします。

市 政 会



滝口 一馬 渡辺 賢次
日色 健人 米原 まさと

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、将来の方針等の所信や疑問をただし、あるいは報告や説明を求めるものです。一般質問は、11月26日〜12月2日に行われました。

企画・財政



物価高騰に伴う補助額見直し
清風会 鈴木 和美

質問 物価高騰に伴い要綱の点検は行っているか。補助額等は見合っているか。

答 企画財政部長 各課で検討し、適正に予算をつけていると考えている。

修学資金貸付制度

質問 市内様々な業種で人材が不足している。看護師や保育士だけでなく、職種を限定しない制度を創設しては。

答 企画財政部長 市で就職説明会の開催や、初任者研修費用の助成等、そのような支援が望ましいと考えている。



自衛隊の訓練
日本共産党 かなみつ 理恵

質問 国に対し、自衛隊の訓練について今以上に進んだ方法での申し入れを。

答 市長公室長 市民の安全に万全を期すよう今後も更に強く申し入れをしたい。



パブリック・コメント制度
飛翔 齊藤 和夫

質問 この制度は開始から30年近く経つが、本市でも利用状況は低調である。公表資料が膨大なうえ、短期間に読み意見を提出することは困難であることが一因と考える。公表方法を改善できないか。

答 総務部長 内容をわかりやすく伝えられるよう工夫する必要があると考えている。

質問 公表資料を配架する際、市民の目に留まりやすい陳列をすべきでは。

答 総務部長 より多くの方に手に取っていただけるよう、見せ方について所管課へ周知を図っていく。

質問 寄せられた意見に対する市のコメントに、提出者が再度意見や質問を投げかけられる仕組みは作れないか。また、市のコメントには木で鼻を括ったようなものがあり、意見が反映・採用されるかわからない。改善の余地はないか。

答 総務部長 再度の意見や質問については、個々に問合せをしていただき対応していくものと考えている。いただいた意見に市がコメントする際は、検討結果をわかりやすく記載する等、市の考え方が正しく伝わるよう周知を図っていく。



東葉高速鉄道の障がい者割引
無所属 はまの 太郎

質問 障がいのある方の単独利用の運賃割引規定はあるが、対象区間がなく実際には割引の利用ができない。利用可能な制度となるよう市から要望すべきでは。

答 企画財政部長 他の事業者の制度を参考に研究できないか、申し入れたい。



オープンデータアイデアソン
公明党 松橋 浩嗣

質問 アイデアソンの開催に至った経緯は。市の行政にどのような影響を与えていることを期待しているのか。

答 総務部長 本市も構成団体となっている千葉県DX推進協議会の市民共創推進部会からの働きかけで開催した。市が保有するオープンデータを活用し、地域課題について参加した市民の方々と一緒に考えデジタル技術による取り組みにつなげる。オープンデータの利活用を市民に広く周知し、DX推進に寄与するものと考えている。

防災



飲料水・生活用水の確保
結 市川 たけし

質問 市は給水車を2台配備しているが、災害時に市全域をカバーできるのか。

答 市長公室長 飲料水の備蓄を始め、市内各施設の受水槽に非常用給水栓を整備するとともに、応急給水用仮設給水栓の配備、防災用井戸の整備や民間が所有する井戸の協定による活用も進めている。



地域防災事業のあり方
無所属 佐々木 克敏

質問 地域の特性を活かした各自治会等で実施する訓練の重要性について市の見解を伺う。また、各自治会の防災事業実施状況や防災意識の温度差等について、

能動的に調査・検証し整理すべきでは。

答 市長公室長 地域で独自に行っている防災訓練は市として大変心強いと感じており、様々な形で協力していきたいと考えている。各町会自治会で行っている防災活動は把握しきれていないため、どのような形で把握できるか検討していきたい。

質問 11月に能登半島に被災地支援の泥かきを行った。現地の調整をする輪島市災害ボランティアセンターに積極的に対応派遣する必要があるのではないか。

能登半島被災地支援
市民民主連合 つまがり 俊明

答 市民生活部長 能登地方の災害ボランティアセンターへの派遣については、手上げをしたが、他が派遣されることに決まったため、現状、能登には行っていない。しかし、派遣要請の依頼には再度手上げするかどうか検討したい」と船橋市社会福祉協議会から聞いている。

生活・安全



防犯対策
市民民主連合 高橋 けんたろう

質問 地域の見守り活動や防犯意識の向上による犯罪抑止が十分に機能していない現状に課題を感じている。東京都狛江市のように、住宅の防犯対策費用を補

助する制度の導入を検討すべきと考えますが、市内で発生した強盗致傷事件を踏まえ、今後の防犯対策を伺う。

答 市長 警察と連携し、意見を交わしながら可能な限り取り組んでいく。また、市全体の防犯力の強化はもちろん、各家庭での防犯力の強化も必要と考えている。

防犯対策
市民民主連合 神田 廣栄

質問 闇バイトによると見られる犯罪が、飯山満町2丁目であった。市民の命と財産を守ることが行政の最も大事な仕事だと思いが、防犯カメラ等の設置への補助をするなど早急に決断すべきでは。

答 市長 地域全体の防犯力を高めるだけではなく、個人の防犯力、家の防犯力を高める施策も必要となり、しっかりと市民の皆さんに届けられる仕組みを構築したうえで、なるべく早い時期に提案したいと考えている。

防犯グッズの配布
公明党 草場 智泉

質問 年末年始など機会を捉えて、補助錠などを街頭等で配布できないか。

答 市民生活部長 地域の防犯力を高めるための有効な施策を検討している。

救急搬送時の聴覚障害者支援
公明党 上田 美穂

質問 遠隔手話通訳や音声文字変換システムの導入ができないか。

答 消防局長 システム導入により聴覚に障害のある方が安心して状態を伝えら

れるようになる。関係部局及び関係団体と連携し、導入について検討する。

質問 電話通報が困難な方のため、N E T 119 緊急通報の周知のため、チラシ作成を。また登録支援が必要では。

答 消防局長 消防局にて、個別に細かく説明しながら、登録支援を行っている。

管理不全の空き地対策
公明党 松壽 裕次

質問 所有者の高齢化などにより管理不全の空き地が多い。条例を改正し、あらゆる管理不全状態へ対応すべきでは。

答 環境部長 条例では雑草が繁茂し周囲に迷惑を及ぼす場合、管理者に助言・指導を行う。雑草以外の物が問題となる場合は他部署と連携し横断的に対応する。

質問 空き家対策から、空き地の管理まで、連続性を持たせた対応を求め。

答 西水副市長 より効果的な対策となるよう先進自治体も参考に検討していく。

闇バイト・特殊詐欺対策
結 青木 はるか

質問 市内の特殊詐欺の被害件数や被害額、近年の動向について伺う。

答 市民生活部長 令和6年1月から10月末までの発生件数が98件、被害額は約5億7千万円。前年同期比では発生件数は減少しているが被害額は増加している。

質問 闇バイトを防止する啓発についてどのような取組が行われているのか。

答 市民生活部長 市内にある全高等学校を訪問し、闇バイトを注意喚起するチ

ラシを校内に掲示するよう依頼している。

空き家対策の連携強化
清風会 杉川 浩

質問 空き家対策は安全・防災対策だけでなく、地域活性化の可能性もある。他部署との連携強化や組織の見直し、N P O や専門家との連携強化を検討すべきだと考えるが、市の見解を伺う。

答 市民生活部長 庁内体制は関係部署と協議していきたい。N P O 法人等を空家等管理活用支援法人に指定できる制度が創設されたため、連携を検討していく。

犬の散歩時のマナー
日本共産党 かなみつ 理恵

質問 電柱に犬のおしっこをしないようポスター作成や東京電力に協力要請を。

答 保健所理事 飼い主へ啓発を続ける。

子育て・健康・福祉

居住支援・空き家問題
市民民主連合 中谷 あやの

質問 本市は孤独死について状況把握をしていないが、居住支援・見守り・孤独死ゼロ対策、空き家問題など部署の垣根を超えて、大きな枠で取り組める部署を作ってはどうか。

答 高齢者福祉部長 高齢者における地域包括ケアシステムの取り組みの中で関係各課との連携・情報共有を図っている。

答 福祉サービス部長 令和5年4月より重層的支援体制整備事業を開始した。

庁内連携を密にして取り組んでいきたい。

生活用水の安全
市民民主連合 三橋 さぶろう

質問 船橋市内で井戸水を利用して市民から有機フッ素化合物(P F A S)が含まれているか等の相談があった場合の対応および相談体制は。

答 保健所理事 水質や飲用に当たっての不安に関する相談は保健所で受けている。飲用水の検査は民間の検査機関により対応可能なことなどから、保健所では現在飲用水の検査を実施していない。検査を希望される方へは民間の検査機関を紹介している。

54億円基金を眠らせず活用を
市民民主連合 朝倉 幹晴

質問 医療センター建替え入札不調で仮に工事着工できる場合も一般会計負担金に基金が使用されるのは2035年頃になり、医療センター整備基金54億円の大部分は約10年間凍結となる。この基金を眠らせず市内各地の在宅医療や介護福祉支援、学校給食・補助教材費無償化等、今まさに助けを必要とする市民を支援する基金に変えすぐ活用すべきでは。

答 企画財政部長 基金は当初の目的のとおり活用していきたいと考えている。

子どもの意見表明権対応策
市民民主連合 池沢 みちよ

質問 子どもの権利侵害に関する相談や救済に対応する「子どもオンブズパーソン相談室」の導入を検討してはどうか。

答 健康福祉局長 まずは既存の相談窓口を活用し、支援に注力していく。

化学物質過敏症対応策

質問 当事者の苦しみを受け止めているか。また、化学物質過敏症への考えは。
答 保健所理事 お困りと承知しており、症状緩和につながる支援が必要と考える。



化学物質過敏症啓発ポスター

保育士の確保
公明党 草場 智泉

質問 保育士確保のため、フルタイム以外の勤務形態を活用できないか何う。
答 健康福祉局長 フルタイム以外の勤務形態の職員を活用することも含め、有効な方法について検討していく。

共同親権・民法改正の周知
結 青木 はるか

質問 法改正の内容について関係職員へ研修を実施すべきではないか。

答 健康福祉局長 関係部署への情報共有とともに、必要に応じて広く庁内へ周知する。研修は担当課が外部研修に参加するなど知識を習得したのち、関係部署への研修の必要性について検討したい。

子どもの放課後問題
飛翔 今仲 きいじ

質問 8月に実施した船っ子教室利用に関するアンケートで長期休暇中の開室前倒しを求める声が多数あるが、検討は。
答 生涯学習部長 就労している保護者の要望として承知しているが、就労支援の事業ではないため、前倒しは行わない。

質問 放課後等デイサービス事業所が不足しているという声に対する認識は。
答 健康福祉局長 利用枠に対し9割弱の利用であり、不足している状況にはないと考えるが、状況把握に努めていく。

質問 子どもの放課後問題は多岐に渡る。居場所づくりを全体的、総合的に考えないと、ルーム待機児童数を0にしても問題は解決しない。市の見解を何う。
答 市長 総合的に検討する必要がある。市が持っている資源を生かしながら、子どもたちの意見を受け止める方法も構築する必要がある。丁寧に対応していく。

質問 児童ホーム入館時の電話番号記入は子どもには難しい。船っ子教室等の

ように、二次元コードで管理できないか。
答 健康福祉局長 利便性向上に繋がると思われるため、調査研究していきたい。



児童ホーム入館時の様子

生活保護へのステイグマ解消
日本共産党 松崎 さち

質問 ステイグマ(ネガティブな意味づけやレッテル)を解消し、申請書をホームページに掲載するなど、市民が安心してできるような改善が必要ではないか。
答 福祉サービス部長 公共施設へのリーフレットの配架など、制度の周知と正しい理解を広めることに努めている。また毎年ホームページの内容を見直しており、今後も市民の方が必要な情報にアクセスしやすいような工夫をしていきたい。

質問 生活保護費を引き上げるよう国に対して要請すべきではないか。

答 福祉サービス部長 現状要望等は考えていない。国の動向を注視していく。

医療センターの建替え
日本共産党 岩井 友子

質問 総額1000億円超が見込まれる病院移転事業を見直すべきではないか。
答 病院局長 現計画を進めていきたい。

放課後ルーム職員の処遇改善

質問 職責の重さにふさわしい処遇か。
答 総務部長 職務内容や近隣との均衡を踏まえ時給単価を設定している。

環境

園芸用土の回収
市議会 日色 健人

質問 園芸用土の処分に困っているという声を聞く。現在本市では回収を行っているが、どのように対応しているか。
答 環境部長 土は廃棄物ではないことから、本市では「市で処理できないもの」と定めている。問い合わせがあった際には購入店への相談や、有料で回収を行っている業者を案内するなどしている。

質問 他の自治体では回収しているところもあるが、状況を把握しているか。
答 環境部長 実施している例があることは承知しているが、そのほとんどが自前の最終処分場で埋め立て処分をしている状況となっている。本市では処理する施設等もなく、土を回収することは考え

ていない。

質問 土の処分に困った人がその辺に撒くということにもつながりかねないと危惧する。不法投棄を防ぐ目的からも、ごみゼロの日や環境フェアなどの行事の際に回収を検討できないか。

答 環境部長 他の自治体の取り組みなどについて調査、研究していく。

環境行政
市議会 滝口 一馬

質問 他自治体で行われている独自の「環境検定」は、環境問題に対する市民の理解を得ることに有益であると考えます。本市でも導入すべきでは。

答 環境部長 楽しみながら学び、環境への関心や意識を高めるものとして有効な環境学習のための手立てであると認識している。他市の事例を踏まえ実施に向けて検討していく。

市民のニーズに応える霊園へ
公明党 鈴木 心一

質問 今後増えるご高齢のおひとりさまや身寄りのない市民の安心のために、埋葬や合祀まで含まれる死後事務を、馬込霊園でも対応できるようにすべきでは。

答 環境部長 お一人お一人が安らかに眠れるよう、合葬墓にて合祀できる備えが必要と考える。整備にあたって対応が図れるよう、関係部局と連携し検討する。

質問 お盆・お彼岸は臨時駐車場の開門をもう少し早くとの声があるが改善は。

答 環境部長 地元自治会と相談したい。

廃アルミの活用で蔵入増を
公明党 木村 修

質問 アルミから水素をつくる技術は蔵入増に繋がると考える。早期の調査を。

答 環境部長 早期の調査開始は、非常に有益と考える。今後も情報収集に努め、調査研究を行ってまいりたい。

ペットボトルのリサイクル
公明党 鈴木 いくお

質問 ペットボトル回収について、HP上の案内は事務的になっていないか。

答 環境部長 親しみやすい表現になるよう見直しを図っていく。

質問 別々に収集しているペットボトルとペットボトルからはずしたキャップを一緒に専用袋で収集できないのか。

答 環境部長 市民の皆様が気軽に出せるが、施設での分別の手間や設備改修による処理コストの増加、キャップの売却単価の低調等の理由から考えていない。

ビオトープの推進
清風会 島田 たいぞう

質問 ビオトープネットワークを推進するため、生態系を活かした学校花壇やコンクリートの池、学校農園の推進を。

答 学校教育部長 他自治体を参考に、学校全体の生態系を活かしたビオトープの推進について、調査、研究していく。

経済・産業

ふなばし市民まつり
市議会 滝口 一馬

質問 令和5年に約56万人であった来場者が、令和6年は約70万人と大変な賑わいであり、夜半過ぎ涼しくなると男女ともトイレに長蛇の列が出来ていた。今後の来場者の増加を考えると、公共のトイレは圧倒的に不足している。仮設トイレ設置の対応等トイレ問題への市の見解は。

答 経済部長 トイレ問題は課題として認識しており、市HPにトイレマップの掲載等しているが、設置数に限りがあり対応が難しい状況である。実行委員会に参加する団体や会場周辺の商店会などに協力を仰ぎ、トイレの確保に努めていく。



ふなばし市民まつり ゆすりこみ

答 経済部長 課題もあるため、他自治体の事例等の情報収集に取り組んでいく。

新商工業戦略プラン
公明党 橋本 和子

質問 策定委員会でエリア別の個性を求める意見があった。北部地域はアンデルセン公園を中心に地場産の野菜や果物等の販売、それらを使った料理の提供など観光の観点からまちづくりを考えると。

答 経済部長 策定において、直売所や農家レストランといった拠点となる施設も含め、地域の魅力を発信し、検討する。

質問 イベント実施の視点も必要では。

答 経済部長 イベントによる地域全体の活性化も視野に、プラン策定を進めたい。



船橋市内で栽培されたシャインマスカット

中小企業支援
公明党 葛生 正文

質問 船橋市中小企業融資制度の利子補給率等を引き上げることができないか。



現在の船橋市地方卸売市場 関連事業者店舗棟

地方卸売市場の諸問題
日本共産党 金沢 和子

質問 市場の関連事業者店舗棟等の建替工事入札が不調になった。今後建設費が更にならば、原価回収のために店舗の使用料が上がりが、関連業者が店舗を使用できなくなってしまうのではないかと。

答 地方卸売市場長 経費の回収方法については経済情勢や市場事業の将来的な財政推計等を見極めながら判断していく。

質問 関連店舗棟の事業者は市にどのような役割を果たしてきたと考えるか。

答 地方卸売市場長 地方卸売市場経営戦略では市民が気軽に足を運べるにぎわいのある卸売市場を目指しており、関連事業者は非常に重要な役割を担っている。

まちづくり

耐震改修に関する市の取組
市民民主連合 岡田 とおる

質問 市が勧める制度の活用方法は。

答 建築部長 昨年度までは1回で耐震改修を行う必要があったが、今年度から1度の費用負担を軽減する等の理由から、2回に分けた改修も助成対象とした。個々の状況から2つの方法を選択でき、1つは1階部分を耐震改修してから2階部分を改修し建物全体を耐震化する方法。もう1つは建物全体を2回に分けて段階的に改修する方法で、選択肢の1つとして検討し活用してほしいと考えている。

建鉄循環線のバス停設置
市民民主連合 斉藤 誠

質問 建鉄循環線は山手地区の歩道が片側しかないので一方通行路線となっている。旧日本建鉄跡地にマンションや病院の建設が計画されており、両サイドに歩道が設置される予定であることから、反対車線側にもバス停を設置すべきでは。

道路部長 日本建鉄跡地のまちづくりが進み周辺の道路環境が整備され、交通状況等の変化に応じて、双方向運行の可能性について改めてバス事業者と協議していきたいと考えている。

新しい交通システム
結 浅野 賢也

質問 実証実験が始まり、多くの自治体が検討している自走式ロープウェイ「Zippar(ジッパー)」がある。従



自走式ロープウェイ Zippar (Zip Infrastructure株式会社 提供)

来のロープウェイと違い車両が自走でき、道路の頭上を走行スペースになり建設費が低コストな新しいシステムである。市内の脆弱な南北交通の解消や船橋駅から南船橋駅の回遊性の向上、海老川上流部開発の交通手段、バス運行の人材不足解消に資する。導入に向け研究できないか。

答 企画財政部長 回遊性の向上については、道路の改修やシェアサイクル事業などソフト面での施策により向上を目指していく。速達性や定時性、輸送力、快適性など利用者の多様なニーズに対応できる新交通システムについては、利便性の向上のほか、地域の活性化やにぎわいの創出にもつながる提案と考えている。しかしながら、新交通システムは本市の都市基盤での導入は多くの課題がある。

まちづくりと自動運転
公明党 木村 修

質問 メディカルタウンの実現に向けて、自動運転バスを導入すべきでは。

答 道路部長 先進市を参考に、導入を想定し課題整理を行い、研究をしている。

二和東5丁周辺の整備
清風会 島田 たいぞう

質問 空き家も含めた駅前広場やロータリー、児童ホーム等の整備を。

答 道路部長 整備を検討していく。

健康福祉局長 総合的に検討する。

教育・文化
清風会 島田 たいぞう

質問 船橋アリーナ等の改修の際には、障害者スポーツも活動できるコート等の施設や用具、指導者を整備すべき。

答 生涯学習部長 障害者がスポーツを楽しめるような設備等を検討していく。

学校の防犯対策
清風会 杉川 浩

質問 防犯対策として、学校建物のハード面での現状や取組を伺う。

答 管理部長 不審者対策として出入口の施錠や防犯カメラの設置、複数の避難経路の確保等に対応している。今後は建替え時に、わかりやすい避難動線や死角を少なくするための教室配置等、防犯対策を強化していきたい。

中学校の制服等学校指定品

清風会 鈴木 和美

質問 入学時に購入する指定品は、直近10年ほどのくらい値上がりしているか。

答 学校教育部長 10年分は把握できていない。ここ2、3年で制服の価格は一部を除き、多くの学校で上がっている。



中学校の制服

生徒を痴漢から守る施策

日本共産党 かなみつ 理恵

質問 新京成電鉄に対し、入試の日に女性専用車両を設けるよう申し入れを。

答 学校教育部長 県教委に要望したい。

学校での芸術鑑賞

日本共産党 岩井 友子

質問 学校での芸術や音楽の鑑賞事業

を市独自に拡大し実施校を増やせないか。

答 学校教育部長 より多くの児童生徒に機会を創出できるように検討していく。

不登校の子どもの支援

無所属 三宅 けいこ

質問 令和5年度において、本市の不登校の児童生徒は1480人だった。学校に抵抗感が強い児童生徒や保護者のためにも、不登校専門の相談場所や、徒歩圏内に子どもの居場所をつくれなにか。

答 学校教育部長 学校関係機関に抵抗感を持つ児童生徒や保護者がいることは認識している。総合教育会議の中でも、現状や課題について、市長部局を含めた関係各課と共有した。今後の相談体制や居場所について連携し、検討していく。

パラスポーツ用具等への補助

無所属 はまの 太郎

質問 ニーズを調査してはどうか。

答 生涯学習部長 具体的なニーズの把握のためアンケートの内容を検討する。

公共施設の障害者への配慮

市民民主連合 川井 洋基

質問 船橋アリーナでは条例により団体利用時に障害者の椅子の利用料金を徴収しており、市民から苦情が出ている。直ちにバリアフリー化への改善もしくは無料化への条例の見直しをすべきでは。

答 生涯学習部長 障害のある方々がスポーツ大会に参加する際の対応について検討していく。また、多目的室のバリア

フリー化は、船橋アリーナ大規模改修の際に他の施設も含めて全体的に改修することを検討している。

デジタル教科書の活用

市民民主連合 浦田 秀夫

質問 デジタル教科書の導入と活用は。

答 学校教育部長 英語と算数・数学を全校に配布。算数・数学は授業内の問題演習の場面や家庭学習で、英語は単語の発音や音読練習などで活用されており、個々のペースに応じた学習ができる。

課題に対する認識や対応は。

答 学校教育部長 児童生徒が授業と関係ない操作に集中するなどの課題がある。活用状況を確認しながら課題を整理し、効果的な活用となるよう調査・研究する。

学校を核とした地域づくり

公明党 葛生 正文

質問 学校だけでは対応しきれない事例に対し、教育委員会としての支援は。

答 生涯学習部長 学校運営協議会へ参加し、併せて研修の実施や事例共有を図り課題を把握し、側面的支援を進める。

学校図書館の図書整備

結 市川 たけし

質問 国の第6次学校図書館図書整備等5か年計画に基づく整備の進捗状況は。

答 学校教育部長 学校司書は全小中学校に1人配置しており、すでに国の目標を達成している。図書の蔵書冊数も同様に標準に対して100%達成している。

質問 整備による効果は表れているか。

答 学校教育部長 令和5年度の全国学力・学習状況調査において、読書が好きと回答したグループは国語と算数ともに市全体の平均正答率より高くなっている。

学校運営上の課題

結 いろいろ 紀子

質問 中学校の校則を、生徒の意見を取り入れるなど一緒に見直せないのか。

答 学校教育部長 国の生徒指導提要では、意義を適切に説明できない校則については必要の有無も含めて議論し見直しを行うよう求められている。また、校則の見直しの過程に生徒自身が参画することは校則の意義を理解し自ら校則を守ろうとする意識の醸成や身近な課題を自ら解決するといった教育的意義を有することが示されている。各学校で見直しを行っているが、示された考え方を改めて周知し今後も取組を継続して行うよう促す。

質問 学校や市で解決すべき環境整備を保護者等様々な団体に行っていたい。やってもらうのが当たり前になっていないか。確認し精査すべきでは。

答 学校教育部長 ボランティア活動の状況を確認し公費で負担すべき内容は各団体に頼ることがないよう精査する。



出前講座を実施しました！

広報委員会では令和4年度より、身近な政治の場である市議会について関心をもっといただくことを目的に、高校生に対し出前講座を実施しております。

今年度は令和6年10月11日（金）に市立船橋高等学校で実施し、1年生385名の生徒の皆さんにご参加いただきました！

★主な内容

広報委員会を担当する議員が市議会の仕組みや役割について紹介し、その後生徒の皆さんからのさまざまな質問にお答えしました。



★当日の様子



★参加した生徒の感想

- ・私たちが知らないところでたくさんの活動をして船橋市をよりよくしていることが分かり、もっと市議会について知ってみたいと思った。
- ・今回の出前授業を生かして、選挙に参加できるようになったら積極的に選挙に参加し、街を良いものにしていきたい。
- ・市議会議員の方々には堅苦しい感じのかなと思ったが、思ったよりも優しく面白くてとても楽しかった。
- ・市議会とは普段なんの縁もなく興味もあまりなかったが、今回の出前講座のお陰で議会の印象も変わった。

◎令和7年第1回定例会は、2月13日（木）から、3月25日（火）まで開会の予定です。

詳しい日程は、下記へお問い合わせください。また、右下のコードを読み取ることで日程を確認できます。「ふなばし市議会だより」に対するご意見・ご感想もお待ちしております。

<問い合わせ> 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 船橋市議会事務局
電話 047-436-3014 FAX 047-436-3013
Eメール gikai-chosa@city.funabashi.lg.jp

